

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-215747

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月18日

(51) IntCl.<sup>9</sup>

A 0 1 K 97/06

識別記号

5 0 1

F I

A 0 1 K 97/06

5 0 1

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平9-20527

(22) 出願日

平成9年(1997) 2月3日

(71) 出願人 397002603

五十川 幸雄

東京都田無市南町6-5-34

(72) 発明者 五十川 幸雄

東京都田無市南町5-15-2

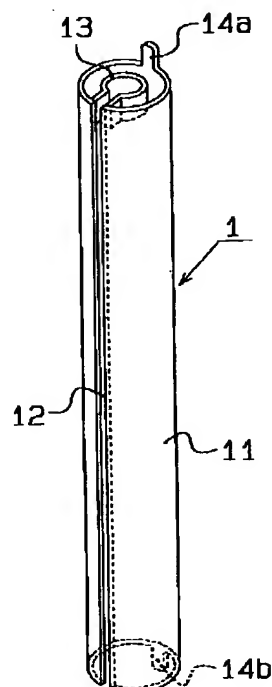
(74) 代理人 弁理士 最上 正太郎

(54) 【発明の名称】 魚釣り用仕掛け巻き具

(57) 【要約】

【課題】仕掛けを巻いたとき釣針が外側に出ることがないため安全で、針先を傷めず、袋に入れる必要もなく、ハリスの末端は通常の輪ゴムを用いて任意の位置で確実に留めることができ、釣針やハリスについた塩分その他の付着物を洗い落とすことも容易である等々、多くの利点を備えた魚釣り用仕掛け巻き具を提供する。

【解決手段】中空の筒状体(11)の側壁にその一母線に沿って全長にわたるスリット(12)を形成し、少なくともその一端の内部に上記スリットに対応する部分が開かれた針掛け部(13)を設け、更にその筒状体の両端若しくは両端近くにはハリス掛け(14a, 14b)を設けて成ることを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】中空の筒状体(11)の側壁にその一母線に沿って全長にわたるスリット(12)を形成し、少なくともその一端の内部に上記スリットに対応する部分が開かれた針掛け部(13)を設け、更にその筒状体の両端若しくは両端近くにはハリス掛け(14a, 14b, 15a, 15b, 16a, 16b, 18a, 18b)を設けて成る魚釣り用仕掛け巻き具(1)。

【請求項2】ハリス掛けが、筒状体の両端に形成した突起(14a, 14b, 130c)である請求項1に記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項3】ハリス掛けが、筒状体の両端に形成したそれぞれ一对の切欠き(15a, 15b, 16a, 16b)である請求項1に記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項4】上記一对の切欠き(15a, 15b)を、スリットと反対側に形成した請求項3に記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項5】上記一对の切欠き(16a, 16b)を、筒状体の中心と上記スリットとを結ぶ直径と略直交する直径上に互いに対向するよう形成すると共に、スリットと反対側の側壁にツマミ片(17)を設けた請求項3に記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項6】ハリス掛けが、筒状体の側壁に設けた一对の突起(18a, 18b)である請求項1に記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項7】針掛け部(13)を、筒状体(11)の内壁に接着により取り付け、請求項1から6までのいずれかに記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項8】針掛け部(13)を、筒状体(11)と一体的に成形した請求項1から6までのいずれかに記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項9】針掛け部(13)を、筒状体(11)に嵌合可能な部材(130)と一体的に成形し、当該部材(130)を筒状体の少なくとも一端に嵌合した請求項1から6までのいずれかに記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

【請求項10】中空の筒状体(11)を、透明な合成樹脂で作製した請求項1から9までのいずれかに記載の魚釣り用仕掛け巻き具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、魚釣り用の仕掛けを保管する際に用いる巻き具に関する。

## 【0002】

【従来の技術】数10cm～1m程度のハリスに1個ないし複数個の釣針を結び付けて成る魚釣り用の仕掛けは、釣るべき魚や釣り場に合わせて、ハリスの太さや長さ、釣針の種類や個数、針と針の間隔等々を様々に変更したものを予め多数用意し、必要に応じてその場で最適なものを選んで使用する。

【0003】このような仕掛けを持ち運び、保管するために、従来から多種多様な巻き具が提供されているが、いずれも一長一短があり、使い勝手の良いものは少ないのが現状である。即ち、多くのものは、巻いたハリスのところどころから針がはみ出しているため、取り外すとき針にハリスが絡んだり、指先を傷つけたりすることが多かった。これを防ぐため、仕掛けを巻いた巻き具を更にビニール袋に入れたりしているが、この袋がゴミの原因になり易い。また、従来は、巻き終わったハリスの末端を、巻き具に形成した狭い切込みに食い込ませて固定するようになっていたため、ハリスを傷めやすい。更にまた、使用後の釣針やハリスには餌の残りや魚のヌメリなどが付着しており、これをそのまま巻き具に巻いて放置すると、腐敗して不潔であるが、従来の巻き具では仕掛けを巻いてから水洗いしても付着物はよく落ちない。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記の問題点を解決するためなされたものであり、その目的とするところは、仕掛けを巻いたとき釣針が外側に出ることがなく、安全で、針先を傷めず、袋に入れる必要もなく、ハリスの末端は通常の輪ゴムや面ファスナー付きのバンドなどを用いてハリスを傷めることなく任意の位置で確実に留めることができ、仕掛けを巻いたままで海水の塩分のほか釣針やハリスに付いた付着物を洗い落とすことも容易である等々、多くの利点を備えた使い勝手のよい魚釣り用仕掛け巻き具を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的は、中空の筒状体の側壁にその一母線に沿って全長にわたるスリットを形成し、少なくともその一端の内部に上記スリットに対応する部分が開かれた針掛け部を設け、更にその筒状体の両端若しくは両端近くにはハリス掛けを設けて成る魚釣り用仕掛け巻き具によって達成できる。ハリス掛けは、筒状体の両端に形成した突起や一对の切欠き、或いは、筒状体の側壁に設けた一对の突起など、様々な形態のものが可能である。また、針掛け部は、筒状体の内壁に接着により取り付けたり、筒状体と一体的に成形したり、或いはまた、針掛け部を、筒状体に嵌合可能な部材と一体的に成形し、当該部材を筒状体の少なくとも一端に嵌合するようにしてもよい。中空の筒状体は、透明な合成樹脂で作製することが推奨される。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しつつ、本発明を具体的に説明する。図1は、本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具の一実施例を示す外観斜視図、図2は、図1に示した巻き具に仕掛けを巻き付けた状態をスリットの側から見た斜視図、図3は、これをスリットと反対側から見た斜視図、図4は、本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具のもう一つの実施例のものに仕掛けを巻き付けた状態をスリットの側から見た斜視図、図5は、これをスリッ

トと反対側から見た斜視図、図6は、ハリス掛けのための切欠きのもう一つの形態のものを示す斜視図、図7は、ハリス掛けの更にもう一つの形態のものを示す斜視図、図8は、本発明に係る巻き具の筒状体の内壁に接着により針掛け部を取り付ける例を示す斜視図、図9は、針掛け部のもう一つの構成を示す説明図、図10は、仕掛けの一例を示す説明図である。

【0007】図1に示す実施例において、1は本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具であり、11は中空の筒状体、12は筒状体の側壁にその一母線に沿って全長にわたって形成されたスリット、13は筒状体の一端の内部に設けられた針掛け部、14a及び14bは筒状体の両端に設けられたハリス掛けである。

【0008】筒状体11は、通常は硬質の合成樹脂で作製され、仕掛けを巻いたとき内部の釣針等が見えるように、透明なアクリル樹脂等で作製するのが望ましい。筒状体11の寸法は、使用する仕掛けによって異なるが、通常は、長さ10〜30cm、内径15〜30mm程度である。側壁の厚さは、所定の強度が得られる範囲で任意であるが、重さ等も考慮して1mm程度とするのが好適である。スリット12は、完全な円筒状に作製された筒状体11をカッタやグラインダで切削して形成してもよいが、筒状体を出し成形時に同時に形成するようにしてもよい。

【0009】針掛け部13は、図8に示すように、筒状体11とは別の部材として作製したものを、その突出部の先端13a、13aにおいて接着剤により筒状体の内壁面に固着するようにしてもよく、或いはまた、筒状体11と一体的に同時に成形してもよい。針掛け部13は、掛けた針が外れないように、図示する如く環状のものが望ましく、ハリスが通過できるように、スリット12に対応する部分を開いてある。筒状体11の両端に設けたハリス掛け14a、14bは、図1の実施例では、筒状体11と一体的に形成された突起である。ハリス掛けのハリスと接触するエッジ部分には、ハリスに傷がつかない程度の丸味をつけることが望ましい。

【0010】なお、針掛け部13を、筒状体11の両端に設け、2種類の仕掛けを収容できるようにしてもよい。その場合は、ハリス掛け14a、14bもあと一組設け、両方のハリスが区別できるようにすることが推奨される。

【0011】次に、この仕掛け巻き具1に、仕掛けを巻き付ける手順について説明する。仕掛けは、例えば図10に示すヒラメ用仕掛け3の場合、長さ60〜100cmのハリス3cの先端にトリプル8号針3aを付け、それより手前にもう1個の針3bを付けてある。針3aと3bの間隔は通常13cm程度であるので、筒状体11の全長はこれより数cm長くなるように作製する。

【0012】このような仕掛け3を、巻き具1に巻くときは、図2及び図3に示すように、まず先端の針3aを

針掛け部13に引っ掛け、ハリス3cをもう一つの針3bと共にスリット12を通じて筒状体11の内部に引き入れる。次いで、残りのハリスをハリス掛け14a及び14bの間に交互に数回巻き掛け（図3に示した例においてはタスキ掛けにしてある）、ハリスの末端3dを小さな輪ゴム2で留めるようにする。筒状体11の側壁上におけるハリスの末端3dの位置は、ハリスの長さによって様々であるが、輪ゴム2によって任意の箇所で留めることができる。単純な仕掛けであれば、針掛け部13に同種類の2、3本の仕掛けの針を掛け、それら複数の仕掛けを同時に収容することも可能であり、その利用方法は使用者の自由である。

【0013】図4及び図5に示した実施例は、図1ないし図3に示したもののハリス掛け14a及び14bの代わりに、筒状体の両端のスリットを設けた側とは反対側に、それぞれ一対の切欠き15a、15a及び15b、15bを形成したものである。これらの切欠きの間にハリス3cを掛け渡し、その末端3dを前記と同様に輪ゴム2で留める。

【0014】図6に示した実施例は、筒状体の両端にそれぞれ一対のハリス掛け用の切欠き16a、16a及び16b、16bを形成したものである。一対の切欠き16a、16a（16b、16b）は、筒状体11の中心とスリット12とを結ぶ直径と略直交する直径上に互いに対向するよう形成してある。これらの切欠き間にハリス3cを巻き掛けるとき、筒状体11の胴部を指で持っていたのでは、指が邪魔になってハリスを巻きにくいので、スリット12と反対側の側壁上にツマミ片17を設けることが推奨される。

【0015】図7に示した実施例は、筒状体11の両端近くの側壁上に一対のハリス掛け18a及び18bを設けたものである。

【0016】図8は、前記の如く、筒状体11と針掛け部13を個別に作製し、両者を接着剤等で固定する例を示している。射出成形等により筒状体11と針掛け部13を一体的に同時に作製することも勿論可能である。ただ、仕掛けの種類に応じて長さの異なる巻き具を比較的少量づつ製造する場合には、それぞれについて成形用の型を準備することは不経済である。そのような場合は、市販のパイプを所望の長さに裁断し、スリット12をグラインダ等で切削することにより筒状体11を作製し、これに別途作製した針掛け部13を接着剤等により取り付けの方が、各種需要に対してこまかく対応できる。

【0017】図9に示した実施例のものは、筒状体11に対して嵌合可能な部材130に、針掛け部13を一体的に成形したものを、筒状体11に嵌め込むようにしたものである。嵌合部材130は、嵌合部130aと、つば部130bと、ハリス掛け130cと、針掛け部13とが一体的に成形されて成るものである。これを、筒状体11に嵌め込み、必要に応じて接着剤等で固定しても

よいが、特に固定しなくても、ハリス掛け130cと他端のハリス掛けとの間にハリスが巻き付けられるので、使用中に外れることはない。この実施例の場合も、仕掛けの種類に応じて市販のパイプを所望の長さに裁断して作製された各種筒状体11を利用して、各種需要に即応できる。

【0018】なお、本発明は上記実施例に限定されるものでなく、例えば、針掛け部の形状、ハリス掛けの形態や個数などは適宜設計変更することができ、従って、本発明はその目的の範囲内において上記の説明から当業者が容易に想到し得るすべての変更実施例を包摂するものである。

#### 【0019】

【発明の効果】上記の如く構成される本発明の仕掛け巻き具の主な利点は次の通りである。

(1) 針3a及び3bは筒状体11の内部に収容され、その針先が全く外に出ないので、安全であり、針先が傷むこともない。

(2) また、針先が外に出ないので、安全及び針先保護のための包装を更に行なう必要がなく、手間が省け、ゴミの発生も防止できる。

(3) 針3a及び3bの付けられているハリスの先端部分だけが筒状体11の内部に収容され、ハリスの残りの部分は筒状体の外部に巻き付けられているので、ハリスが針に絡むことがなく、仕掛けの取外しがスムーズに手早くできる。

(4) 釣り終了後、針が付いたまゝの仕掛けを巻き付け、そのまま水洗いができ、海水の塩分のほか針先の付着物等を洗い落とすことができる。その際、最も汚れの着き易い針とそれに近いハリス部分は筒状体内に張架され、残りの長いハリス部分と重なることなく分離されているので、充分に洗浄でき、不潔になることがない。そのため、仕掛けも巻き具も何回も使用でき、針付きの仕掛けをゴミとして捨てることが少なくなる。

(5) ハリスの長さに拘わらずハリスの末端3dを筒状体側壁の任意の箇所て輪ゴムで留めることができるので、従来の如く狭い切込みにハリスを食い込ませて固定する場合のようにハリスが傷むことがない。また、輪ゴムを外すとき、針に引っ掛かるようなこともなくスムーズに外すことができる。

(6) 透明な筒状体を用いることにより、仕掛けを巻き付けたまゝで、針の種類や、針と針の間隔など仕掛けの種類が容易に判別できる。

(7) 仕掛けの種類を書き込む必要がある場合も、札などをつけなくても、筒状体の外周面に直接油性ペン等で書きつけることができ、消すこともできる。

(8) 射出成形等によって全体を一体的に作製することにより、安価かつ大量に供給することが可能である一方、市販のパイプ等を利用して需要に応じて各種寸法のもの比較的少数づつ安価に提供することも可能である。

このように、本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具は、多くの利点を有し、使い勝手もよく、大量生産にも多品種少数生産にも対応できる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具の一実施例を示す外観斜視図である。

【図2】図1に示した巻き具に仕掛けを巻き付けた状態をスリットの側から見た斜視図である。

【図3】これをスリットと反対側から見た斜視図である。

【図4】本発明に係る魚釣り用仕掛け巻き具のもう一つの実施例のものに仕掛けを巻き付けた状態をスリットの側から見た斜視図である。

【図5】これをスリットと反対側から見た斜視図である。

【図6】ハリス掛けのための切欠きのもう一つの形態のものを示す斜視図である。

【図7】ハリス掛けの更にもう一つの形態のものを示す斜視図である。

【図8】本発明に係る巻き具の筒状体の内壁に接着により針掛け部を取り付ける例を示す斜視図である。

【図9】針掛け部のもう一つの構成を示す説明図である。

【図10】仕掛けの一例を示す説明図である。

#### 【符号の説明】

1——魚釣り用仕掛け巻き具

2——輪ゴム

3——仕掛け

11——筒状体

12——スリット

13——針掛け部

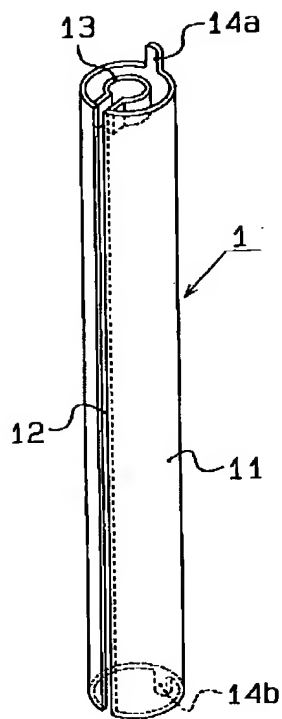
14a, 14b, 15a, 15b, 16a, 16b, 1

8a, 18b——ハリス掛け

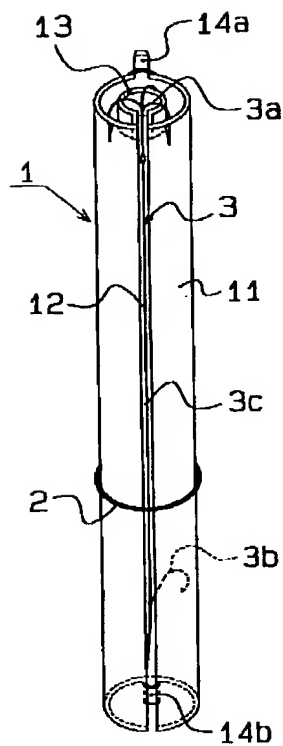
17——ツマミ片

130——嵌合部材

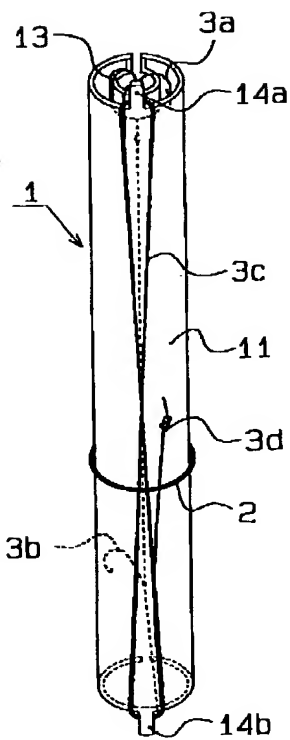
【図1】



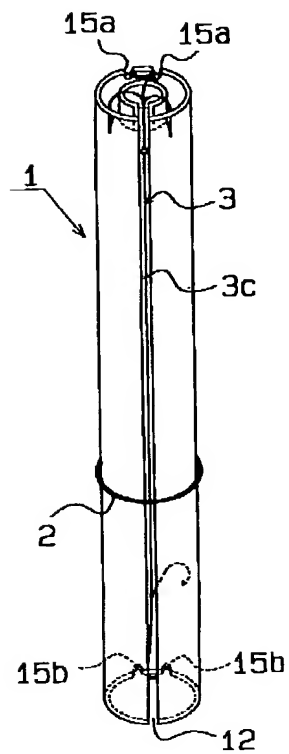
【図2】



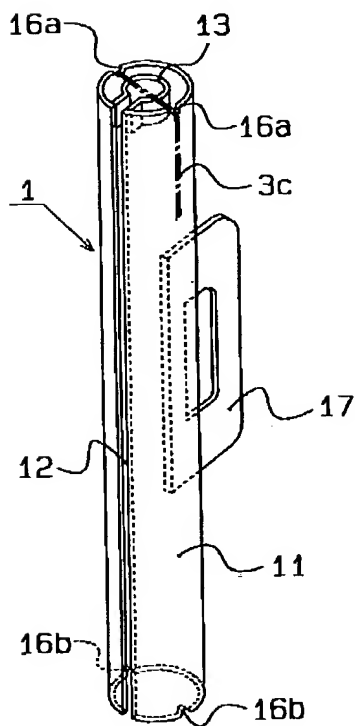
【図3】



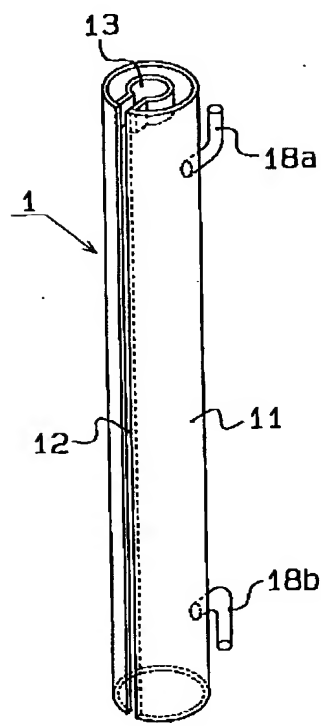
【図4】



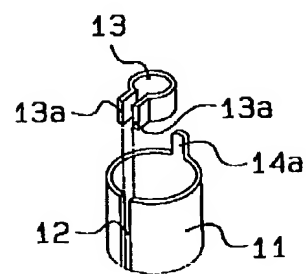
【図6】



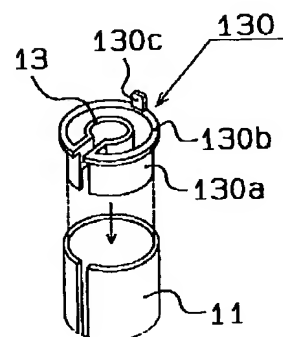
【図7】



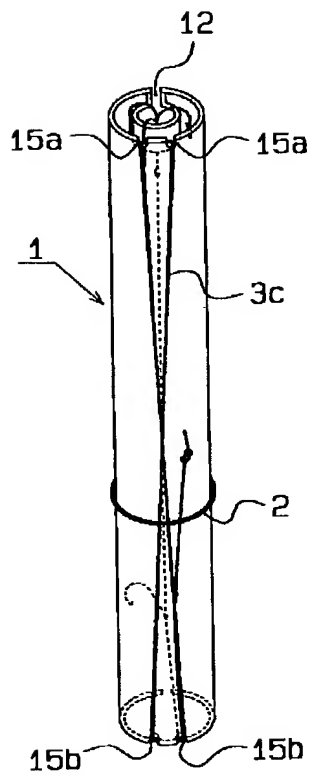
【図8】



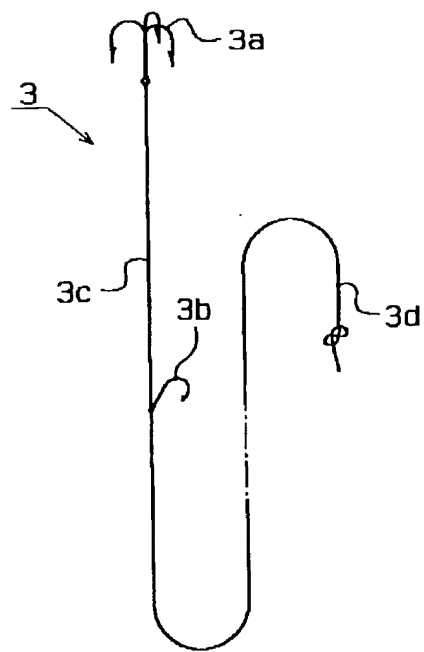
【図9】



【図5】



【図10】



PAT-NO: JP410215747A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10215747 A  
TITLE: DEVICE WINDING REELING TOOL  
PUBN-DATE: August 18, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
ISOGAWA, YUKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ISOGAWA YUKIO	N/A

APPL-NO: JP09020527

APPL-DATE: February 3, 1997

INT-CL (IPC): A01K097/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device reeling tool for fishing with the many advantages of being safe because a hook does not go outside at the time of reeling the device, avoiding the tip of the hook from being damaged, unnecessitating housing in a bag, surely fitting the end of a leader at an optional position through the use of a normal rubber band, facilitating washing and removing salt and the other matters stuck to the hook and the leader, etc.

SOLUTION: This device reeling tool for fishing forms a slit 12 along one generating line at the side wall of a hollow cylinder 11 through the full



length, is provided with a hook hooking part 13 obtained by opening a part corresponding to the slit 12 at least inside of one tip of it and additionally provided with leader hooks 14a and 14b at both ends of the cylinder or near both of the tips.

COPYRIGHT: (C)1998, JPO

DERWENT-ACC-NO: 1998-498953

DERWENT-WEEK: 199843

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Rolling tool for fishing device -  
has string hooks that are individually formed on both ends  
of hollow cylinder having hook-needle holder with opened  
inner portion corresponding to longitudinal slit

PATENT-ASSIGNEE: ISOKAWA Y[ISOKI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0020527 (February 3, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 10215747 A		August 18, 1998	N/A
006	A01K 097/06		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP 10215747A	N/A	
1997JP-0020527	February 3, 1997	

INT-CL (IPC): A01K097/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10215747A

BASIC-ABSTRACT:

The tool (1) includes a longitudinal slit (12) formed on the longitudinal direction of the sidewall of a hollow cylinder (11). A hook-needle holder (13) is opened to the inner side by making its predetermined portion correspond to the longitudinal slit. String hooks (14a,14b) are individually formed on both ends of the hollow cylinder.

ADVANTAGE - Prevents fish hook from appearing to outer side  
when rolling  
fishing device, thereby fishing safety is ensured. Needle  
head of fish hook  
can be accommodated at short period of time, without  
generation of refuse.  
Enables smooth and quick detachment of fishing device since  
string is prevented  
from twinning to needle. Prevents rolling tool from  
becoming dirty, thereby  
service life of tool and fishing device can be lengthened.  
Enables mass  
production since various kinds of needles of fishing hook  
can be accommodated.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/10

TITLE-TERMS: ROLL TOOL FISH DEVICE STRING HOOK INDIVIDUAL  
FORMING END HOLLOW  
CYLINDER HOOK NEEDLE HOLD OPEN INNER PORTION  
CORRESPOND LONGITUDE  
SLIT

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-389869